

「個別公共事業の評価書(その2)ー平成22年度ー」の正誤表

頁	正										誤									
事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)	事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)							
		貨幣換算した便益・B(億円)	費用・C (億円)	B/C					貨幣換算した便益・B(億円)	費用・C (億円)	B/C									
		便益の内訳及び主な根拠							便益の内訳及び主な根拠											
15	岩瀬下関防災公園 都市再生機構	16	21	15	1.4	・鎌倉市の地域防災計画において、当該公園整備後、一次避難地として位置づけられる予定であり、有効避難面積の確保に資する(有効避難面積:0.95㎡/人→2.08㎡/人)	都市・地域整備局公園緑地・景観課 (課長 小林 昭)	16	25	17	1.4	・鎌倉市の地域防災計画において、当該公園整備後、一次避難地として位置づけられる予定であり、有効避難面積の確保に資する(有効避難面積:0.95㎡/人→2.08㎡/人)	都市・地域整備局公園緑地・景観課 (課長 小林 昭)							
37	流山ニュータウン公共下水道事業 (千葉県流山市) 都市再生機構	その他	55	354	165	2.1	・開発宅地の浸水被害に対する安全性と良好な生活環境の確保が期待できる。残事業についてもH25に完了予定。 ・開発事業と一体で事業を進めることにより効率的な整備が可能	都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課 (課長 岡久 宏史)	流山ニュータウン公共下水道事業 (千葉県流山市) 都市再生機構	その他	55	400	165	2.4	・開発宅地の浸水被害に対する安全性と良好な生活環境の確保が期待できる。残事業についてもH25に完了予定。 ・開発事業と一体で事業を進めることにより効率的な整備が可能	都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課 (課長 岡久 宏史)				
37	千葉ニュータウン公共下水道事業 (千葉県印西市) 都市再生機構	その他	136	2,081	977	2.1	・開発宅地の浸水被害に対する安全性と良好な生活環境の確保が期待できる。残事業についてもH25に完了予定。 ・開発事業と一体で事業を進めることにより効率的な整備が可能	都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課 (課長 岡久 宏史)	千葉ニュータウン公共下水道事業 (千葉県印西市) 都市再生機構	その他	136	1,963	977	2.0	・開発宅地の浸水被害に対する安全性と良好な生活環境の確保が期待できる。残事業についてもH25に完了予定。 ・開発事業と一体で事業を進めることにより効率的な整備が可能	都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課 (課長 岡久 宏史)				
37	国文ニュータウン公共下水道事業 (大阪府茨木市・箕面市) 都市再生機構	その他	21	343	76	4.5	・開発宅地の浸水被害に対する安全性と良好な生活環境の確保が期待できる。残事業についてもH25に完了予定。ただし開発事業の変更に伴う見直しが必要 ・開発事業と一体で事業を進めることにより効率的な整備が可能	都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課 (課長 岡久 宏史)	国文ニュータウン公共下水道事業 (大阪府茨木市・箕面市) 都市再生機構	その他	21	302	73	4.2	・開発宅地の浸水被害に対する安全性と良好な生活環境の確保が期待できる。残事業についてもH25に完了予定。ただし開発事業の変更に伴う見直しが必要 ・開発事業と一体で事業を進めることにより効率的な整備が可能	都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課 (課長 岡久 宏史)				